

時代の流れに合わせながら
地元で貢献できる商品を



1592年(文禄元年)創業の名門サカイ(株)は、江戸時代初期に初代宇和島藩主伊達秀宗の御用商人として宇和島入りし、以来400年以上にわたり酒類の製造・販売を行っています。7代藩主宗紀からは、香りのよい美酒という意味の「芳醸ほうじょう 明治己卯歳めいじごみづね 九十翁春山くわじゅうしゅんざん」の扁額を寄贈されました。

同社では現在、10年以上貯蔵の熟成古酒「天赦」や、本市が生産量日本一を誇る真珠をイメージした「真珠のときめき」など個性的な商品を製造、販売しています。本市が舞台となった映画「海すずめ」をきっかけに誕生した海底熟成酒「海すずめ」は、さらなる認知度向上のために新たなPRを考えているそうです。また昨年11月には、地元の特産品を使ったものを造りたいという思いから産まれた「ブラッドオレンジ梅酒」が、全国梅酒品評会2021で最高位となる金賞を受賞しました。

松為まつみ社長は、今後は国内だけでなく海外にも積極的にPRしていきたいと言います。「これからも地元で貢献できるような商品を発信し続けて、市内外多くの人に親しみてもらいたい」と力強く話してくれました。